



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「産業立国、日本の自衛策」～地球規模で備える多角的サプライチェーンの構築～

専務理事 黒澤東雄

資源は乏しいながら、高い技術力によるものづくりで高精度・高機能商品を生み出すことでの差別化で産業立国を自認してきた日本。その日本の産業界も、近年の激変する世界情勢の中では大いなる苦戦を強いられています。サプライチェーンの分断です。紛争、地球環境の劣化や自然災害、そしてパンデミックなどの従来型のリスク要因に加えて、国際政治力学を起因とする空路や海路の遮断による物資の運搬への障害が現実となっています。希少金属や特殊原材料の移動の制限や先端技術や情報の転用の制限など我々の日々の生活では実感できない事項もあります。そして近年において最も厄介な問題として、サイバー空間での妨害やテロ行為などサプライチェーン分断の要因は数え切れません。物資の需給関係や価格競争など純粋な経済的要因よりもむしろ国際政治に絡む要因の影響がより肥大化してきています。このような状況の中で日本の産業に係るサプライチェーンを安定化し、生産性と信頼度を保つこと、即ち企業の安定・安全経営は容易なことではありません。日本の産業の継続性を保つためには企業の努力だけでは如何ともしがたく、政府による戦略的な外交努力と強力なバックアップが是非とも必要な時代になっています。SEF 会員の多くが関わってきた産業界に、復活の兆しが見えてくることに期待したいと思います。

9 月度理事会より (第 228 回 9 月 21 日)

事務局

1. 月島機械での DX 講演	→可決承認	7. 業務マニュアル MN-017 及び MN-016 添付資料 1 の更新	→報告了承
2. 2022 年 10 月度会員交流会の開催	→可決承認	8. 2022 年 7 月・8 月度月次会計報告	→未報告、次回理事会にて報告
3. 東京計装との業務委託契約	→可決承認	9. 準会員の入会－堀籠繁氏	→報告了承
4. 正会員への異動－谷崎守会員	→可決承認	10. 準会員の入会－岸耕平氏	→報告了承
5. 「AI・IoT 事業化研究会」活動の終了	→報告了承		
6. 「NPO 推進ネット団体総合補償制度」の継続更新	→報告了承		

事業報告 (時事問題(JJ)研究会)

担当理事 波多野正幸

コロナ感染拡大以降は感染防止の観点からリモート形式で活動を継続しています。リモート形式により簡便に参加できるメリットも感じます。今までも技術動向だけでなく経済、政治分野の課題に取り組んでいますが、今期は 4 月から日経記事をベースにした「ウクライナ危機と国際情勢」のテーマで 9 月まで実施しました。2 月から始まったロシアによるウクライナ侵攻による戦争を通して、世界の政治経済への影響、状況の把握と今後の課題について幅広い意見を読み解きながら、意見を交わして理解を深めています。普段あまり意見を交わす事のない課題に取り組み有意義な時間を持つ事が出来ると感じます。10 月以降はその他の政治、経済、技術動向についても、適宜ピックアップしていきます。参加メンバーと 10 月からの運営方法を協議しながら、取進めます。皆様の参加をお待ちします。

SEF サロン (第 124 回報告、第 125 回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第 124 回報告 》

日時:2022 年 9 月 21 日(水)、15 時～16 時 30 分 Zoom 方式 講師: 堀田研二 SEF 準会員

題目:「サイバーセキュリティと経営者の危機管理対応」

概要:昨今サイバーセキュリティにおいて多々事象発生する中で、経営者に対してどのような危機管理対応を進めるべきか、経団連他の検討課題のお話でした。さらに、最近のランサムウェア等について、活発な質疑がありました。

《 第 125 回案内 》

日時:2022 年 11 月 16 日(水)、15 時～16 時 30 分 Zoom 方式 講師: 加茂 徹 早稲田大学・ナノプロセス研究所教授

題目:「炭素循環に基づく持続可能な社会におけるプラスチックの役割(仮)」

9 月度会員動向

事務局

会員の入退会 準会員入会 : 2 名 (堀籠繁氏 及び 岸耕平氏)	9 月末日現在の会員数 正会員 : 22 名、 準会員 : 45 名 賛助会員 : 5 社+1 団体
--------------------------------------	--